

平成28年度決算審査について【参考資料】

保護者連絡会からのコメント

◎新4年生の受け入れについては、中学年と言えどまだまだ大人の関わりや見守りが必要な子ども達であり、生活の場としての学童保育がぜひとも必要という切実な声が保護者会全体のものとなり、請願を提出致しました。

児童福祉法改正もあり、採択によって、事業計画よりも2年早く4年生受け入れが実現し、放課後や長期休業中の過ごし方に苦慮する家庭が救われたことに感謝しています。

過ごし方の選択肢の中に、一番安心できる学童保育ができてとても助かったという声と共に、今後に向けては、特に長期休業中について、待機児童の解消と6年生までの受け入れが強く望まれています。

◎学校休業日の8時開級については、親の出勤時間が子どもの登級時間よりも早く、子どもだけで家の戸締りをさせたり、子どもを学校の校門の前で待たせたりしていたことが解消され、とてもありがたかったです。

8時であれば普段の登校日と同じ時間に家を出ることができ、この夏休みは学童保育利用者の半数以上が8時半までの登級で利用していました。

◎年度末についても、仕事をもつ親にとって特に休みにくい日であり、開級の実現に向けて検討が進められていることを大変心強くありがたく思っております。

◎2件の請願採択は、行政の中でどのように物事が決まっていくか知らない父兄も多い中、保護者が話し合い保護者会として要望を上げることで、議員の皆様のご理解とご支援をいただき、市の事業の充実につながる、市民が参画できる行政の形であることを示していただきました。

市民の願いを市政に反映してくださる芦屋市議会に対しては、嬉しく誇らしく感じております。関係各位に心より感謝申し上げます。

以上です。

ありがとうございます。